

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果> ○国語科では、文章の内容を読み取る<読む力>が身につけてきている。そのため、文脈から語句の意味を予想したり、文章から自分の考えをもつことがよくできている。 ○数学科では、授業で学習したことを生活で活用できるように考えている生徒の割合が高い。 ○選択式の問題形式では正答率が高いので、基礎的な力はついてきていると考えられる。</p> <p><課題> ▲国語科では、文章を書く力が弱いため、敬語、推敲、文書の構成を工夫して書くことが苦手である。 ▲数学科では、説明する問題を苦手としている生徒の割合が高い。 ▲初めて読む問題文の読み取りに時間がかかったり、答え方に戸惑ったりして、無回答率が高い。</p>	<p><成果> ○スマホ等の使い方について家の人との約束を守っている生徒の割合が高い。 ○今住んでいる地域行事によく参加している。 ○勉強が好きと感じている生徒が多い。 ○将来の夢や目標を持っている生徒の割合が高い。</p> <p><課題> ▲家庭学習の時間が少ない。 ▲自己肯定感が低い。 ▲自分の思っていることを言葉でなかなか表しにくいと感じている生徒が多い。</p>

改 善 策

学 校 で の 取 組

- ①授業づくり
 - ・タブレット、ICT機器の活用
 - ・振り返りの定着
 - ・ペアー、グループなどの話し合い活動
- ②基礎学力の定着のための取組
 - ・朝学習で滴一滴や朝読書などに取り組む
 - ・放課後の補充学習
 - ・家庭学習の手引きの活用
- ③家庭学習の定着
 - ・課題一覧表の配付、ホームページへのアップ
 - ・デイズノートとして自主勉強ノートの提出、担任からのコメント
- ④人間関係づくり
 - ・ほめ言葉のシャワーの取組
 - ・コミュニケーショントレーニングの実施
 - ・SELの実施
 - ・PBIS
 - ・i-チェックによるアンケート結果の利用
 - ・授業での話し合い活動

中 学 校 区 で の 取 組

- 「チャレンジ寄島学園」を中学校の試験期間に合わせて小中合同で実施し、望ましい生活習慣の定着を図る。
 ○小中で統一して昨年度作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい家庭学習の習慣が定着するように声かけをしてください。
 ○規則正しい生活習慣が身につくように協力してください。
 ○スマホ等の使い方について家庭でも話し合いをしてください。